

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成28年11月17日 (2016.11.17)

【公開番号】特開2015-25797(P2015-25797A)

【公開日】平成27年2月5日 (2015.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-008

【出願番号】特願2014-40142(P2014-40142)

【国際特許分類】

G 0 1 R 29/08 (2006.01)

H 0 4 B 3/46 (2015.01)

B 6 0 L 3/00 (2006.01)

H 0 2 M 7/48 (2007.01)

【F I】

G 0 1 R 29/08 D

G 0 1 R 29/08 Z

H 0 4 B 3/46 B

B 6 0 L 3/00 N

H 0 2 M 7/48 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月26日 (2016.9.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

周期的な電気ノイズ源からの、対象物を通した電気ノイズの伝播経路を特定するための方法であって、

a) 前記対象物上の選択された領域に、ノイズ測定装置のノイズセンサーであって、前記ノイズ測定装置に、電気ノイズの大きさを表す出力信号を発生するノイズセンサーを配置し、

b) 周期的な電気ノイズ源に同期したトリガー信号を発生し、

c) 前記ノイズ測定装置による前記ノイズセンサーからの電気ノイズの読み出しを開始するため、前記トリガー信号を、ノイズデータとしての出力信号を発生する前記ノイズ測定装置に接続し、

d) 前記ノイズ測定装置からのノイズデータ出力を、前記選択された領域の位置情報に関連付けて記録し、

e) 前記ノイズセンサーを他の選択された領域に移動し、そして、

f) ステップ a) ~ e) 繰り返すステップを備えたことを特徴とする電気ノイズの伝播経路を特定するための方法。

【請求項 2】

前記請求項 1 に記載した方法において、

前記ノイズセンサーは、センサーの配列 (アレイ) を備えていることを特徴とする電気ノイズの伝播経路を特定するための方法。

【請求項 3】

前記請求項 1 に記載した方法において、

前記対象物は自動車であることを特徴とする電気ノイズの伝播経路を特定するための方

法。

【請求項 4】

前記請求項 1 に記載した方法において、

前記記録ステップは、前記ノイズデータ出力の大きさをコンピュータデータベースに記録するステップを有していることを特徴とする電気ノイズの伝播経路を特定するための方法。

【請求項 5】

前記請求項 1 に記載した電気ノイズの伝播経路を特定するための方法であって、

更に、各選択された領域のためのノイズセンサーからの複数の出力信号を入力し、

各選択された領域のための平均化されたノイズデータ出力を計算し、

その後、前記平均化されたノイズデータ出力を記録するステップを備えたことを特徴とする電気ノイズの伝播経路を特定するための方法。

【請求項 6】

前記請求項 1 に記載した方法であって、

更に、前記選択された領域の前記位置情報と、前記ノイズデータ出力に基づいて、ノイズマップを生成するステップを備えたことを特徴とする電気ノイズの伝播経路を特定するための方法。

【請求項 7】

前記請求項 1 に記載した方法であって、

更に、前記ノイズデータ出力、前記選択された領域の位置情報、そして、前記トリガー信号のタイミングからの経過時間に基づいて複数のノイズマップを生成し、そして、

前記複数のノイズマップを、前記トリガー信号のタイミングからの経過時間の順に表示するステップを備えたことを特徴とする電気ノイズの伝播経路を特定するための方法。

【請求項 8】

周期的な電気ノイズ源からの、対象物を通した電気ノイズの伝播経路を特定するためのシステムであって、

前記対象物上の選択された領域に、ノイズ測定装置のノイズセンサーであって、前記ノイズ測定装置に、電気ノイズの大きさを表す出力信号を発生するノイズセンサーを有するノイズ計測装置、周期的な電気ノイズ源に同期したトリガー信号を発生するトリガー発生器、前記トリガー発生器からのトリガー信号は、前記ノイズセンサーによる電気信号の読出しを開始するための入力信号として接続されており、

前記ノイズセンサーの出力信号を、前記選択された領域の位置情報に関連して記録する記録手段とを備え、

前記ノイズセンサーは、前記対象物上の異なる選択された領域に移動されることを特徴とする電気ノイズの伝播経路を特定するためのシステム。

【請求項 9】

前記請求項 8 に記載したシステムにおいて、

前記ノイズセンサーは、センサーの配列（アレイ）を備えていることを特徴とする電気ノイズの伝播経路を特定するためのシステム。

【請求項 10】

前記請求項 8 に記載したシステムにおいて、

前記対象物は自動車であることを特徴とする電気ノイズの伝播経路を特定するためのシステム。

【請求項 11】

前記請求項 8 に記載したシステムにおいて、

前記記録手段はコンピュータデータベースを備えていることを特徴とする電気ノイズの伝播経路を特定するためのシステム。

【請求項 12】

前記請求項 8 に記載したシステムにおいて、

複数のノイズセンサーの出力信号が、各選択された領域に対して入力され、

各選択された領域に対するセンサー出力信号の平均を演算するプロセッサを備え、その後、前記記録手段が、前記平均のセンサー出力信号を記録することを特徴とする電気ノイズの伝播経路を特定するためのシステム。

【請求項 13】

前記請求項 8 に記載したシステムであって、

更に、前記選択された領域の位置情報とノイズセンサーの出力信号に基づいてノイズマップを生成するように構成されたプロセッサを備えたことを特徴とする電気ノイズの伝播経路を特定するためのシステム。

【請求項 14】

前記請求項 8 に記載したシステムであって、

更に、前記ノイズセンサーの出力信号、前記選択された領域の位置情報、そして、前記トリガー信号のタイミングからの経過時間に基づいて複数のノイズマップを生成し、そして、前記複数のノイズマップを、前記トリガー信号のタイミングからの経過時間の順に出力するように構成されたプロセッサを備えたことを特徴とする電気ノイズの伝播経路を特定するためのシステム。